

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 27. 4. 23 第 189 回国会第 7 号

4 月 23 日（木）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 競馬法の一部を改正する法律案（内閣提出第 47 号）（参議院送付）

- ・ 林農林水産大臣、小泉農林水産副大臣、小泉内閣府大臣政務官、中川農林水産大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

（参考人）日本中央競馬会理事長 後藤正幸君

- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、仲里利信君（無））
- ・ 齋藤健君外 4 名（自民、民主、維新、公明、共産）から提出された附帯決議案について、佐々木隆博君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、仲里利信君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

### 堀井 学君（自民）

- ・ 中央競馬及び地方競馬の近年の売上等の状況はどのように推移しているのか。
- ・ 国内競走馬の海外競馬における出走状況はどうなっているのか。
- ・ 今回の法改正によりどのような経済の好循環を期待するのか。

### 石田 祝稔君（公明）

- ・ 今回の法改正で、新たに趣旨規定を盛り込んだ理由は何か。
- ・ 地方競馬の売上げが平成 24 年以降増加した理由は何か。
- ・ 平成 30 年度以降の地方競馬活性化事業の在り方をどのように考えるか。

### 佐々木 隆博君（民主）

- ・ 日本中央競馬会（以下「JRA」という。）の売上回復及びファン拡大の取組について伺いたい。
- ・ 軽種馬の生産の拡大等の馬産地振興をどのように図っていくのか。
- ・ 農政における担い手を「認定農業者」、「認定新規就農者」及び「集落営農」に限定した理由は何か。

### 玉木 雄一郎君（民主）

- ・ 海外競馬における公正性確保については、具体的に誰がどのように確認を行うのか。
- ・ TPP交渉において自動車の原産地規則が交渉の対象とされているのか。
- ・ 現在米国議会に提出されているTPA法案が成立した場合、その内容を吟味するまでTPP交渉を妥結すべきではないのではないか。

### 松 木けんこう君（維新）

- ・ 海外競馬の情報提供をJRAはどのように行うのか。
- ・ JRA敷地内における現金自動預払機（ATM）はどの程度設置されているのか。
- ・ JRAからの国庫納付金等は、どのような畜産振興事業に使われているのか。

### 畠山 和也君（共産）

- ・ 「日ロさけ・ます漁業交渉」及びロシア下院に提出された、同国 200 海里水域におけるさけ・ます流し網漁を禁止する法案への対応状況はどのようなものか。
- ・ 中央競馬及び地方競馬の売得金が長期的に減少した理由は何か。
- ・ TPP交渉妥結による軽種馬生産に対する影響はどのようなものか。

## 2 連合審査会開会申入れに関する件

- ・ 内閣の重要政策に関する件（ＴＰＰ等）について、内閣委員会に連合審査会の開会を申し入れることに協議決定しました。